江西省第三届日语翻译大赛决赛试题

第一部分：日译汉（50 分）

1.（20 分）

おかしなはがきが、ある土曜日の夕がた、一郎のうちにきました。

かねた一郎さま　　九月十九日

あなたは、ごきげんよろしいほで、けっこです。
あした、めんどうなさいばんしますから、おいでください。とびどうぐもたないでください。

山ねこ 拝

こんなのです。字はまるでへたで、墨もがさがさして指につくくらいでした。けれども一郎はうれしくてうれしくてたまりませんでした。はがきをそっと学校のかばんにしまって、うちじゅうとんだりはねたりしました。

ね床にもぐってからも、山猫のにゃあとした顔や、そのめんどうだという裁判のけしきなどを考えて、おそくまでねむりませんでした。

2.（30 分）

六月の雨は、ふりつづけてもう三日になる。丸ビルを出て、傘をひろげると、少女は黙つてついて来る。傘を持たない雅子を、明男は自分の傘に入れてやる他はない。彼はそこに、冷たい心のまま世間体を気にする大人の習慣を見出し、それを今では身についたもののやうに感じた。別れ話を切り出したあとでは、相合傘だつて、ただの世間体のためだと考へること。割り切ること。……どんな隠微な形にもせよ、割り切ることは明男の性に合つてゐた。

広い歩道を宮城のはうへ向つて歩くあひだ、少年が考へてゐたのは、どこでこの泣き袋を放り出さうかといふことだけだつた。

『雨の日も噴水は出てゐるかな』

何となくさう考へた。何故自分は噴水のことなんか考へ出したのだらう。さらに二三歩あるくうちに、彼は自分が考へてゐたことの、物理的な冗談に気がついた。

せまい傘の下で、冷たく邪鰹に触れる少女の濡れたレインコートの、爬虫類みたいな感じに耐へながら、明男の心は強ひて快活に、一つの冗談の行方を追つてゐた。

第二部分：汉译日（50 分）

1.（20 分）

正值上元节(元宵节)这天，舅舅的儿子吴生邀他一块出去游览。刚到村外，舅舅家里来了个仆人，把吴生叫走了。王子服看见游玩的女子很多，便乘着兴致独自游逛。有个姑娘带着婢女，手里捏着一枝梅花，容貌绝世，笑容满面。王生看得目不转睛，竟然忘记了男女间的避讳。姑娘走过去几步，回头对婢女说:“这小伙子两眼发光，像个贼!”将花丢在地上，说说笑笑地径自走了。王生捡起那枝花，心里十分怅惘，像丢了魂似的，闷闷不乐地走回来。

2.（30 分）

天冷极了，下着雪，又快黑了。这是一年的最后一天—大年夜。在这又冷又黑的晚上，一个光着头赤着脚的小女孩在街上走着。她从家里出来的时候还穿着一双拖鞋，但是有什么用呢？那是一双很大的拖鞋—那么大，一向是她妈妈穿的。她穿过马路的时候，两辆马车飞快地冲过来，吓得她把鞋都跑掉了。

一只怎么也找不着，另一只叫一个男孩捡起来拿着跑了。他说，将来他有了孩子可以拿它当摇篮。小女孩只好赤着脚走，一双小脚冻得红一块青一块的。她的旧围裙里兜着许多火柴，手里还拿着一把。这一整天，谁也没买过她一根火柴，谁也没给过她一个钱。可怜的小女孩！她又冷又饿，哆哆嗦嗦地向前走。雪花落在她的金黄的长头发上，那头发打成卷儿披在肩上，看上去很美丽，不过她没注意这些。